

SOU LABOの新ショールームがオープン 様々なスタイルの収納システムを提案

白石物産

催した。

白石物産（栃木県鹿沼市）が展開するオーダー収納家具ブランド「SOU LABO（ソウ・ラボ）」は、本社倉庫の一部を活用して収納を活かした生活空間の提案をするショールームを開設。3月15日と16日の2日間、オープニング・イベントを開

催した。ソウ・ラボはシステム収納の専門店「スタジオ・ソウ」の実験室。物をしまっただけではない「見せる収納」をコンセプトに、様々な生活における収納を提案する。今回のショールームでは、収納システムを1〜2坪

の空間に見立てて生活の場面に合わせた収納のあり方を企画。居室、店舗、趣味室など、条件に合わせた収納スタイルをブーアのテーマに則してデザイン。また、個々のブーアは同社のデザイナーと宇都宮メディアアーツ専門学校とのコラボ企

の空間に見立てて生活の場面に合わせた収納のあり方を企画。居室、店舗、趣味室など、条件に合わせた収納スタイルをブーアのテーマに則してデザイン。また、個々のブーアは同社のデザイナーと宇都宮メディアアーツ専門学校とのコラボ企

画によって実現。建築関係の仕事を目指す学生達によるコンペを行い、優秀な作品を実際のブーアとして建設した。

入口付近の「ソウ・ラボ/オリジナルショップ」は15日に美容室を、16日にはアクセサリー店を出展。ヘッドスパの美容室では、アンティーク調の仕上げとし、無垢の床板をビス留めし、収納棚はランバーコアを古色に塗装。中央に美容室で使う椅子を設置し、実際に来場者がリラックス体験できるようにスタッフが待機した。出入り口の扉も建具用の丁番ではなく家具用のスライド丁番を用いて設置するなど、収納家具としての提案を強く意識している。

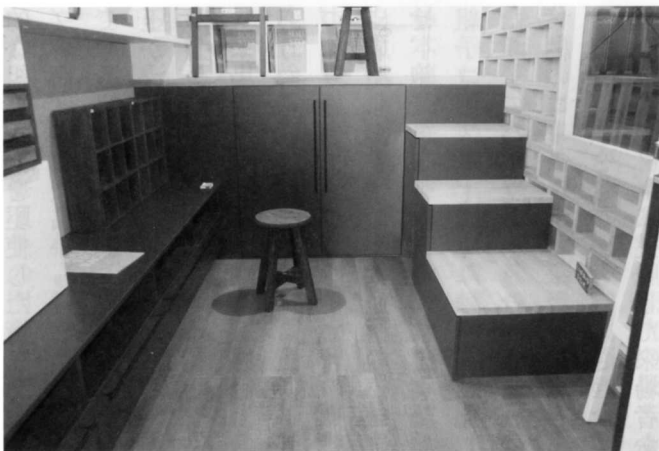
ショールームオープンイベントの様子



1〜2坪で収納のある生活を提案



父親の趣味室の設計



父親向けの個室という設計の「パス・リビング」は大人の趣味室的な空間。段差を有効活用した収納で立体的な居室の使い方を考えた。入口の脇に階段を設置し、奥行きに大きな収納スペースを用意。壁側は趣味に使う様々な製品が収納できるオープン棚を設置した。

母親の家事室をイメージした「ママス・ストレージ」は白色を基調とした動線の良い部屋。洗濯物を収納するラックやアイロン作業、または